



# 心ひとつに。

2月21日(土) 天白文化小劇場にて、劇あそび発表会が行われました。  
仲間と助け合い、みんなの心がひとつとなった大変素晴らしい発表会でした。

自分なりのイメージを膨らませ、全身を使ってのびやかに表現していましたね。  
また、人間や動物の役以外にも、木や花、波や柵など、いろいろなものになりきって演じることができ、小道具の出し入れも全て子どもたちだけで立派に行うことができました。  
先生方も、ピアノを弾きながらのナレーション、時には太鼓、鈴、笛など大切な一役を担いましたね！



## エコ当番に来ました！

それでは チェック開始！  
年少・黄組のお当番さんは、**ゴミ箱をチエック**します！  
もえるゴミ、もえないゴミ、**プラ(資源)、紙(資源)**それぞれ正しいゴミ箱に入っているかな？  
**年中・赤組のお当番さんは、水道をチエック**します！水道の蛇口はしっかりと閉まっているかな？  
**年長・青組のお当番さんは、電気をチエック**します。**CDデッキ、クラビノーバ、室内電気を使わないときはOFF**にしてあるかな？  
ストーブの設定温度は、**十八度以下**になっているかな？  
『地球にやさしい』活動を続けていきましょう！



## 無病息災を願って

2月3日(火)に豆まきを行いました。  
節分は、春の始まりの日の前日ということ。  
みなさんはご存知でしたか？この季節の変わり目には、**悪い気(鬼)**が生まれるんだそうです。そこで豆まきをして、**悪い気(鬼)**を追い払います。  
**鬼は外！福は内！**



わらべうたがきこえて来たよ。  
とある冬の日、  
**おちゃらか、おちゃらか、おちゃらか、ほい♪**  
**あんたがたどこさ、ひごさ、ひごどこさ…♪**  
楽しそうな歌声がお部屋から聞こえてきました。

エコ当番にきました～！



よもやまばなし

先日天白区制四十周年の記念式典、祝賀会に、私立幼稚園代表として臨席しました。現区長は、かつて環境局時代に共にエコキッズ(市内の幼児期からの環境保全活動)推進、検討を進めた仲で、再会に改めて縁を感じました。  
ところでお土産にいただいたのは、記念事業として制定された天白区のマスケットキャラクター「かぼち」のバッチでした。何でも地元産の野菜でできたキャラクターで、「くりかぼち」の頭、八事五寸にんじんのからだになっていきます。私は何かピンとこないデザインだと思っていましたが、祝賀会でのスピーチや映画をみて納得をしてみました。

四十年前以上の明治、昭和初期のこの地域の白黒スライドショーでは、川と畑がほとんどです。地元の大坪小学校開校時の周辺もほとんどが畑か更地ばかりです。そんな写真をパックに、区政協力委員長が語ります。「子どもの頃は川で泳いで魚をつて食べ、そばの畑のいもをとってやきいもをして、たまたま網にかかったヒヨドリやスズメをついでに焼き鳥(?)にして食べ、腹がへれば近くの畑のダイコンをとって食べ、今じゃ怒られますが、川と畑でたくさんあそんだ記憶があります。」そんな地元で育った年配の方々の願いが未来につづく「かぼち」、つまり故郷の自然が象徴となったよつです。

さて、年々都市化されていく天白区の中で、本園の界隈は風致地区、東山緑地帯としていつまでも緑や自然が保護されます。青組の皆さん、修了した後もいつまでも生き物たちのふるさと、心のふるさとを栄光八事幼稚園に遊びにきてください。在園児とともに自然に感謝し、地球を守っていきます。

園長 岡田 勝彦

